

2014年6月9日

ウォーターマン(WATERMAN 本部:フランス)

報道関係者各位

フォト リアリズム アーティスト Dirk Dzimirsky 氏が
「ウォーターマン」のペンを使用して描いた、写真のようにリアルな絵を日本初公開！
ライブドローイングも実施！

ウォーターマン 2014 年新商品
『ブルーオブセッション』コレクション
発売記念イベント

“WATERMAN Blue Obsession Tokyo Exhibition”

フランスの高級筆記具ブランド「ウォーターマン」(WATERMAN 本部:フランス)は、新商品『ブルーオブセッション』コレクションの発売を記念して、6月6日(金)東京都代官山にて、発売記念イベント“WATERMAN Blue Obsession Tokyo Exhibition”を開催しました。

発売記念イベントでは、「ウォーターマン」2014年度初の商品となる『ブルーオブセッション』コレクションのお披露目に加え、フォト リアリズム アーティストの Dirk Dzimirsky 氏を招き、『ブルーオブセッション』コレクションのペンを使用したライブドローイングを実施しました。



日本初公開となった、『ブルーオブセッション』を使用して描いた
Dirk Dzimirsky 氏のフォト リアリズム アート作品

※上記画像は、報道でのご利用に限り、2014年5月1日から2015年4月30日までご利用いただけます。

画像をご希望の方は、下記お問合せ先までご連絡ください。

「ウォーターマン」と Dirk Dzimirsky 氏とのコラボレーションは今回が初めて。また、Dirk Dzimirsky 氏が日本で作品を披露するのも、今回が初めてでした。

日本で初公開された Dirk Dzimirsky 氏の作品は、ウォーターマン『ブルーオブセッション』コレクションのペンを使って描いた、150cm×200cm ほどの大きな絵。普段は鉛筆や油を使って絵を描いている Dirk Dzimirsky 氏にとって、ペンを使って描くことは新たな試みでした。この大きな絵を描くために使用したペンの芯の数は約 12 本。三週間をかけて完成したそうです。初めて目にする Dirk Dzimirsky 氏の緻密で迫力ある作品に、会場からは「すごい！」「ペンで書いたとは信じられない！」と驚きの声が上がりました。

そしていよいよ、Dirk Dzimirsky 氏によるライブドローイングが始まると、会場は大きな期待と興奮に包まれました。Dirk Dzimirsky 氏はとてもリラックスした雰囲気、今回のイベントのために特別に結成されたカルテットに笑顔で合図すると、音楽に合わせて、ペンを巧みに、すいすいと動かしていきました。今回ライブドローイングの題材となったのは、女性の目元。特に、瞳の描写は繊細で、Dirk Dzimirsky 氏が一本一本線を入れるごとに、絵に命が吹き込まれていくかのようでした。『ブルーオブセッション』コレクションの美しいブルーで表現された、精巧なドローイングを前に、会場からは歓声とため息が漏れました。また、ライブドローイング中、Dirk Dzimirsky 氏が観客からの質問に答えたり、一緒に写真を撮ったりするシーンも。Dirk Dzimirsky 氏自身も今回のライブドローイングをとっても楽しんでいる様子でした。

Dirk Dzimirsky 氏は、今回初めてとなる「ウォーターマン」とのコラボレーションについて、「本来、文字や線を書くためのペンを使い、ブルー一色を使ってアート作品を製作することは、自分にとって新境地を切り拓ききっかけとなった。絵画とは違った次元で、まるで本物に触れているような存在感を作品から感じてほしい。ただの肖像画ではなく、私個人が抱いた思いまで伝わればと思っている」と述べました。また、今回使用した『ブルーオブセッション』コレクションのペンについて、「重さがちょうどよく、一筆ごとにパーソナリティを浮かび上がらせ、絵に確かな存在感を与えた。情熱的なブルーは、魅惑的なまなざしを表現するのに役立った」とコメントしました。

「ウォーターマン」ブランドを運営する、ニューウェル・ラバーメイド・ジャパン マーケティング部 部長 関 一瞳は、今回のイベントの開催にあたり、「『ブルーオブセッション』コレクションの深みのあるブルーには、私たちの心の奥底にある平穏、自由、そして詩情的な感情が込められています。一つ一つのペンに物語があり、個性があります。Dirk Dzimirsky 氏の描く緻密な線、アートへの真摯な姿勢は、「ウォーターマン」ブランドの考え方と共通するものがあります」と述べました。

<イベント概要>

- 日 時: 2014 年 6 月 6 日(金) 15:00~21:00
『ブルーオブセッション』発売記念イベント
“WATERMAN Blue Obsession Tokyo Exhibition”
- 会 場: DAIKANYAMA T-SITE GARDEN GALLERY(東京都渋谷区猿樂町 16-15)
- ゲスト: フォト リアリズム アーティスト Dirk Dzimirsky 氏
- 登壇者: ニューウェル・ラバーメイド・ジャパン マーケティング部 部長 関 一瞳

<ウォーターマン『ブルーオブセッション』コレクションについて>

夢の色、“ブルー”からインスピレーションを得て生まれた「ウォーターマン」の新しいコレクション。ファッションの最先端をいく鮮やかなブルーをまとった新作の登場です。このコレクションは、私達の心の奥底にある平穏、自由、そして詩情的な感情を満たしてくれます。流れる水のような穏やかさ、夢に満ちた青空のように心の中に深く浸透していくことでしょう。

芸術的な繊細さ、パリのエレガンス、綿密な細工。このペンは、それぞれのモデルが、選ぶ人それぞれの個性を引き立たせてくれるアイテムです。



<ウォーターマンについて>

美とアート之国、フランスを代表する高級筆記具ブランド「ウォーターマン」は、造形と色彩の美しさをペンという形で表現しています。

『クリエイティブ』を代名詞として、ファッションデザイナーやイラストレーターなど様々なアーティストとのコラボレーションを通じて、自分らしさや表現する喜びを分かち合える筆記具ブランドとしての地位を確立しています。

1883年に創業し、『近代万年筆の祖』として、130年以上もの歴史をもつ「ウォーターマン」は、卓越したクラフトマンシップに基づきながら、時代のトレンドを取り入れたデザインの商品を提供することで、個性を大切にしたい人々を応援していきます。詳しくは www.waterman.com をご覧ください。

<本件に関する報道関係各位からのお問い合わせ先>

PR代行 (株)電通パブリックリレーションズ 天野

TEL:03-5565-2779 FAX:03-3546-2017